

令和5年7月の大雨による被災状況を調査

〈建設経済常任委員会〉

7月19日

7月7日から10日にかけて断続的に降り続いた大雨により、市内各所で被害が発生しました。

建設経游常任委員会では、関係部署とともに、特に甚大な被害を受けた上陽支所管内の被災箇所を調査しました。

○大雨情報

・総雨量 622mm

(7月7日22時から
7月10日20時まで)

・時間最大雨量80mm
(7月10日7時)

【発心北・上陽地域】

○被害調査箇所

【納又地区】

・家屋被害、土砂流入
【市管理河川】飯塚川
・河川護岸、河道閉塞
【県道】田主丸黒木線
・路肩崩壊
【市道】下横山東西線
・法面崩壊

令和5年7月豪雨災害 被害状況 (令和5年7月末現在)

【単位:件、千円】

	公共土木		農地・農業用施設		林道		合計	
	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額
補助災	111	3,098,800	75	312,000	16	196,000	202	3,606,800
単独災	90	300,000	100	70,000	16	100,000	206	470,000
応急工事	105	173,200	15	23,000	16	29,500	136	225,700
計	306	3,572,000	190	405,000	48	325,500	544	4,302,500

調査を終えて



路肩が崩落した県道田主丸黒木線

八女市ではここ数年豪雨災害が発生し、多くの方々が被害に遭われ、今まで不自由な生活を余儀なくされています。現在、国の災害復旧事業査定へ向けた測量設計の段階で、早期復旧のための予算確保に、全力で取り組まれています。作業を担つて日々奮闘していただいている関係各位に心より感謝と敬意を表し、今後の早期着工と一刻も早い復旧を期待します。

(高山 正信)



関係者との意見交換

黒木学校給食センターの状況を調査

〈総務文教常任委員会〉

7月20日

総務文教常任委員会の所管である「黒木学校給食センター」及び隣接の「黒木中学校」の2施設を訪問し、運営状況等について調査を行いました。

黒木学校給食センター 黒木中学校

黒木学校給食センターは、平成19年3月に建設され、黒木地区の市立の全小中学校へ給食(約

550食分)を提供しています。建設当時から現在まで使用している機械、設備などが多く、老朽化して

あります。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)などが多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)などが多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)などが多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)など多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)など多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)など多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)など多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

います。【全校生徒数】156名(令和5年8月1日現在)など多く、老朽化してあり適宜修理をしながら使用しているとのことで

調査を終えて



天井が破損している放送室

報告を受け、特段の問題点などは発生していないとのことでした。また、7月の大雨で放送室の雨漏りで修繕が必要なことや、ナイター設備の電柱が倒れかかっている現状を確認しました。

(服部 良一)